

## 第4回利府町震災復興計画策定委員会 開催結果

- 1 開催日時 平成23年11月18日（金）  
13時30分から15時50分まで
- 2 開催場所 役場2階 第1・2会議室
- 3 出席委員数 11名

### 4 協議内容

#### （1）第3回利府町震災復興計画策定委員会における御意見について

第3回利府町震災復興計画策定委員会において各委員よりいただいた御意見について町の考え方を説明し協議を行った。

#### （2）浜田・須賀地区復興整備構想（素案）について

浜田・須賀地区復興整備構想（素案）及び津波防御施設の検討について協議を行った。

《主な質疑事項・意見》

Q 浜田地区の避難場所について、資料で示された避難場所候補地（案）は現在の場所から離れているのか。

A 浜田地区で現在指定されている避難場所については、今次津波により浸水した場所もあり、危険であるため、変更案として新たに示している。

Q 避難道路について、浜田地区のやすらぎの上から山を越える避難道路は、かなり険しい。高齢者の多い地域で、実際に避難が可能か。

A 現地を確認しているが、浸水して孤立した場合を考えると、病人が出た時の避難路として必要である。逆に浜田地区へ救出に行く場合にも必要な道路となる。

#### （3）浜田・須賀地区地元意見交換会の開催状況について

10月31日及び11月2日に開催した浜田・須賀地区地元意見交換会の開催状況について協議を行った。

- ・（浜田地区）住民の反応は、海水面からの防潮堤の高さを4.3mで良しとする意見もあったが、堤防の高さに対する具体的な意見交換がないままに終了した。台風による内水の原因とその対策に対する質問等に集中した。

- ・(須賀地区) 高台避難場所等に関する方針は概ね了解が得られた。住民の反応は、水門設置に対する具体的な意見交換がないままに終了した。地盤沈下に伴う高潮や内水対策に対する質問等に集中した。

《主な質疑事項・意見》

- Q 須賀地区の内水対策について、町はどのように考えているのか。
- A 地盤沈下によって、内水を捌けなくなっていることが現在問題になっている。排水計画も復興計画とあわせて、内部で検討を始めているところである。
- Q 須賀地区の復旧復興について、防潮堤と嵩上げ、どのような方法を考えているのか。
- A 須賀地区については、船が出入りする場所に水門を設置し、シャッターとして津波を防ぐ考えで計画を練っている。また、地盤沈下している漁港施設については嵩上げ等も含めて検討している。

(他委員からの意見)

浜田地区の防潮堤設置については、震災が起きる10年以上も前から町に対して要望してきた。今回の震災の復旧復興事業の中で、ようやく設置の目安がついたと考えている。県の基準では4.3mという高い防潮堤となるが、補助がなければ設置できないことを考えれば、この際、それなりの防潮堤を作ってほしい。

#### (4) (仮称) 利府町震災復興計画(素案)について

(仮称) 利府町震災復興計画(素案)について協議を行った。

《主な質疑事項・意見》

(他委員からの意見)

利府町が非常に安全・安心で住みやすい町ということで、土地を探してこられる方が非常に多く見受けられる。建物を建てられて住めるような土地利用を早めに検討していただければ町の発展にもつながっていくのではないかと。

- Q 復興計画について、今後具体的にどう進めていくかが課題である。一方、防災計画についてはどうなるのか。
- A 防災計画については、今回の震災を受けて国及び県においても見直しが図られているので、それらをうけて町でも見直していく。

#### (5) パブリック・コメントについて

(仮称) 利府町震災復興計画（素案）に関するパブリック・コメントについて協議を行った。

- ・平成23年11月18日（金）から12月17日（土）まで意見募集